

きょう りゅう

多収米の産地化で持続性の高い農業を目指して!!

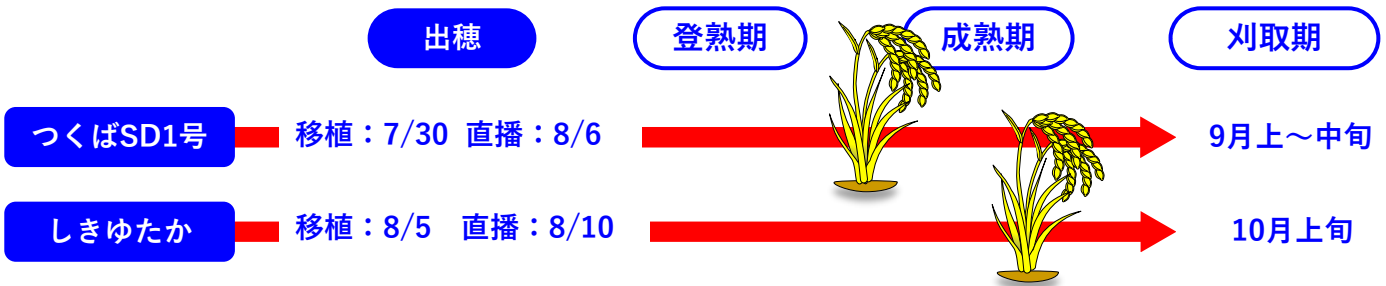
強粒 エクスプレス

KYO-RYU.EXPRESS



8月に入ってからも、天気の不安定な日が続いています。ハナエチゼンの刈取時期を迎えていますが、なかなか刈取が進まない状況が続いています。今後の気象も予想が定まらず、管理が難しい状況ですが、適期の刈取・適切な乾燥調整を行い、収量と品質向上に努めましょう。

1. 生育の目安と栽培管理



2. つくばSD1号の刈取判定

今年度の『つくばSD1号』の生育は、昨年に比べ草丈がやや長い、茎数はやや多い状況です。積算温度による刈取り予測は9月初旬ごろ、圃場の状況に応じた刈取りと丁寧な乾燥調整を行いましょう。

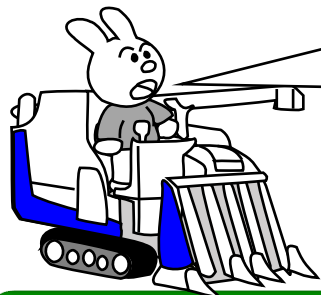
①積算温度から・・・

出穂日から積算温度による刈取り開始日を予測。

- 積算温度 : 1,000℃(コシヒカリ同等)
- 出穂後日数 : 35～40日

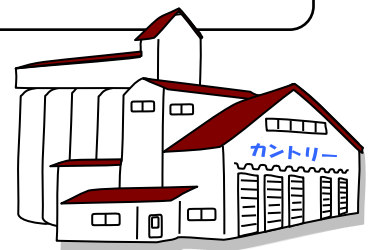
②登熟歩合(穂軸調査)から・・・

- 帯緑歩率(青歩) : 10～15%



★注意!!
つくばSD1号は、葉色が落ちにくいので『穂軸の熟れ』や『葉の黄化』で収穫期を判断すると刈遅れになりやすい。

- 今後の天候(気温)により、刈取日は前後します。カントリー稼働日程は決まりしだいご案内を致します。



3. しきゆたかの本田管理

①水管理 : 登熟期から刈取り期



【乳白米防止と干粒重アップ】

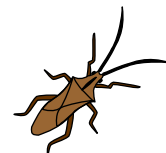


多雨により圃場が柔らかい場合は、速やかな落水に努め土壌を固めましょう。今後は、田面が乾く前に入水し、自然落水を繰り返す。一般品種より穂が大きく長い登熟期間が必要なため、長期間に亘って間断通水を継続して良好な登熟を促しましょう。



②カメムシ防除 : 傾穂期(出穂後7～14日後)防除

【斑点米防止】 ダントツ粉剤DL 3～4kg/10a



適期刈取で収量アップを目指しましょう。今回の『Kyo-Ryu.Express』は中央支店が担当しました。